

# 枚方中国語を学ぶ会だより

202029023年1月号  
枚方中国語を学ぶ会

## 一堂に会して学んだ合同学習会

昨年11月16日、枚方市総合文化芸術センター別館で、枚方中国語を学ぶ会の2022年度合同学習会が行われ、各班から老師も含めて38人の参加がありました。

合同学習会は、日頃の各班の学習の成果の上に立って、更なる深化をめざすとともに、各班の会員が一堂に会し交流することを目的に開かれてきました。

今年の講師は初級班講師の程婷婷老师。関西大学大学院生でもある程老师は、自らの研究論文のテーマ「第2外国語として中国語を勉

強しないといけないと思っていた一人の中国語学習者が、留学を経験して、主体的に勉強したいと思うようになった原因はなぜなのか」に基づいて、学習意欲アップには、きっかけとなる出会いや経験が必要だと話されました。

確かに、現状に満足したり、漫然と学習を続けがちになるもの。さらなるレベルアップの為には、出会いや体験が必要だと再確認できた学習会でした

続いて初級班の今西さんの発声で乾杯し懇親会に。感染症対策を十分に取しながら、各班の出し物など、楽しいひと時を過ごし、一日も早く通常の懇親会が出来ることを願いつつ閉会しました。



### そこはもう中国 中国食材店”紅蘭”



枚方市の北牧野団地のそばに、中国食材店”紅蘭”があります。店主はもちろん中国人。お客さんも団地に住む中国人。

一度覗いてみては。客と店主の会話を聴いているだけで気分は中国です。

### 西川会長の 中国語余話⑱

#### 「土下座して謝れ」で大騒動に

新しい年を迎え、益々のご活躍をお祈りします。

さて、今回も挨拶・習慣についてのお話です。新年早々、縁起が悪いですが、「土下座」についてみてみましょう。

何年も前、日本のお偉いさんが、中国のレストランで、店員の態度が悪いと「土下座しろ」と言ったので、中国人を侮辱した罪で国外退去になったことが、新聞に乗っていました。

中国で「土下座」と同じ動作を・磕头・ketou・と言います。この動作は、主に先祖を敬ったり（墓参り）や、昔、国王への挨拶に用いられるのが主で、一般にはほとんど行われません。ですから、中国人が日本に観光で、伝統のある日本旅館に行くと、必ず宿の女将さんが、畳に両手をつけて「ようこそいらっしゃいました！」と挨拶されます。日本人には当たり前の姿ですが、中国人には「日本人が我々中国人に・磕头・ketou・してくれている!!」と驚き、感動します。

新しい年を迎え、本年もよろしくお祈りします。